

北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射と核実験に強く抗議

核兵器廃絶・平和建設国民会議

(略称：KAKKIN)

北朝鮮は、8月29日午前5時58分頃、北海道襟裳岬上空を通過する形で弾道ミサイルを発射し、太平洋上に落下させた。そして、9月3日12時31分頃、6回目の核実験を行った。弾道ミサイル発射は、2017年に入って13度目であり、今回の核実験は過去最大規模のものとなっている。北朝鮮のこの一連の暴挙は、米国を巻き込んで東アジアの緊張をかつてないほどに高めており、日本もこれまでにない脅威にさらされている。

この北朝鮮の暴挙に対して、9月4日G7首脳声明が発せられ、北朝鮮によって行われた新たな核実験を最も強い表現で非難している。また、北朝鮮は全ての関連する国連安全保障理事会決議を即時かつ全面的に遵守し、全ての核・弾道ミサイル計画を、完全な、検証可能な、かつ不可逆的な方法で放棄すべきであるとしている。

国連安全保障理事会でもまた、9月11日に北朝鮮への更なる制裁内容が満場一致で採択された。その内容は、当初案からは後退したものの、北朝鮮の生命線と言われる原油・石油精製品の輸出に上限を設定し、北朝鮮からの繊維の輸出禁止や新たな労働者派遣の禁止など、これまで以上に踏み込んだものとなっている。

KAKKINは、北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射および核実験に強く抗議するとともに、弾道ミサイル発射と核実験を直ちに中止し核兵器開発を断念することを強く求める。また、9月4日のG7首脳声明を全面的に支持するとともに、国連安全保障理事会が9月11日に採択した制裁内容を、全ての国が完全履行することを求める。更に日本政府が、国民の生命と財産を守るため毅然たる態度で関係国と連携して行動することを求める。

KAKKINは1961年の結成以来「いかなる国のいかなる理由による核兵器も許さない」として運動を推進してきた。そして、広島・長崎での平和行動をはじめ、NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議開催時には現地へ赴き、核兵器廃絶の必要性を強く訴えてきた。

KAKKINは今後も、北東アジア地域の非核化の実現、さらには「核兵器なき世界」の実現を目指し、全力で取り組みを進めていく。

以上